

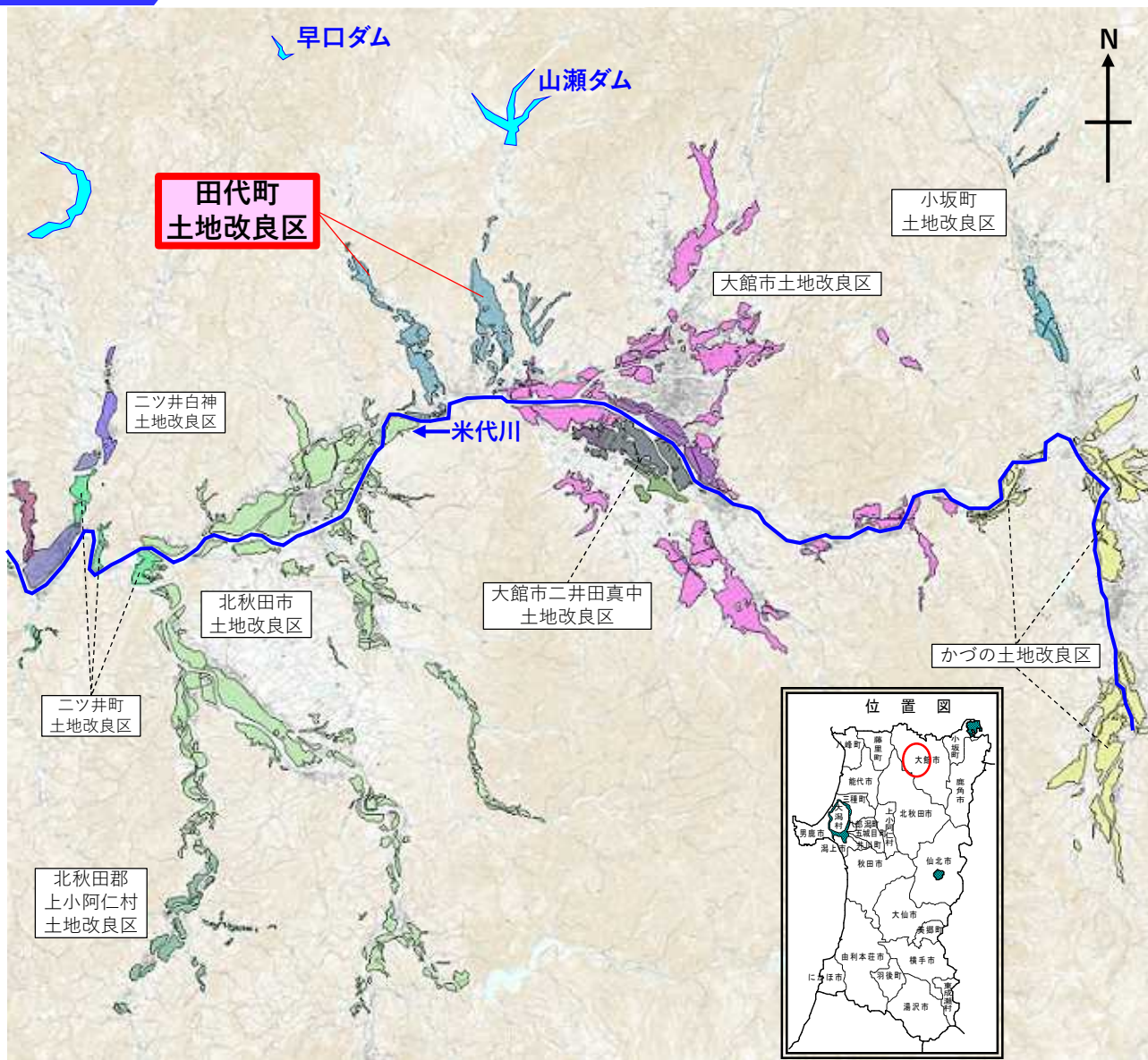
田代町土地改良区

受益面積 841ha

地域の概要

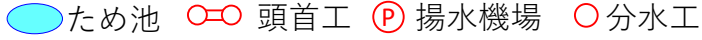
- 当土地改良区は、米代川の支流である山田川、岩瀬川、早口川の流域を受益とする。
- 農業用水については山瀬大堰頭首工、李岱頭首工、早口大堰頭首工などの山間の美しい固定堰から取水され、開水路により受益地に送水される。
- 受益地の大半は昭和50年代～60年代にかけて実施されたたほ場整備事業により、30a区画となっている。

上岩瀬頭首工



【内 容】

- 工区の構成
- 水利システムの概要【山瀬工区（岩瀬川流域）】
- 水利システムの概要【山瀬工区（山田川流域）】
- 水利システムの概要【早口工区】
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県北秋田地域振興局農村整備課
協 力	・ 田代町土地改良区 ・ 大館市 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和 7 年 3 月
基本凡例	  ※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのとおりの表記となっていない場合がある
出 典	・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。 これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。 本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。

工区の構成

米代川支流の早口川・岩瀬川・山田川の流域を受益とする

- 米代川支流の早口川流域の「早口工区」、岩瀬川・山田川流域の「山瀬工区」により構成される。
- 各工区はそれぞれ独立した水源を有しており、頭首工により取水し開水路による送水を主としている。

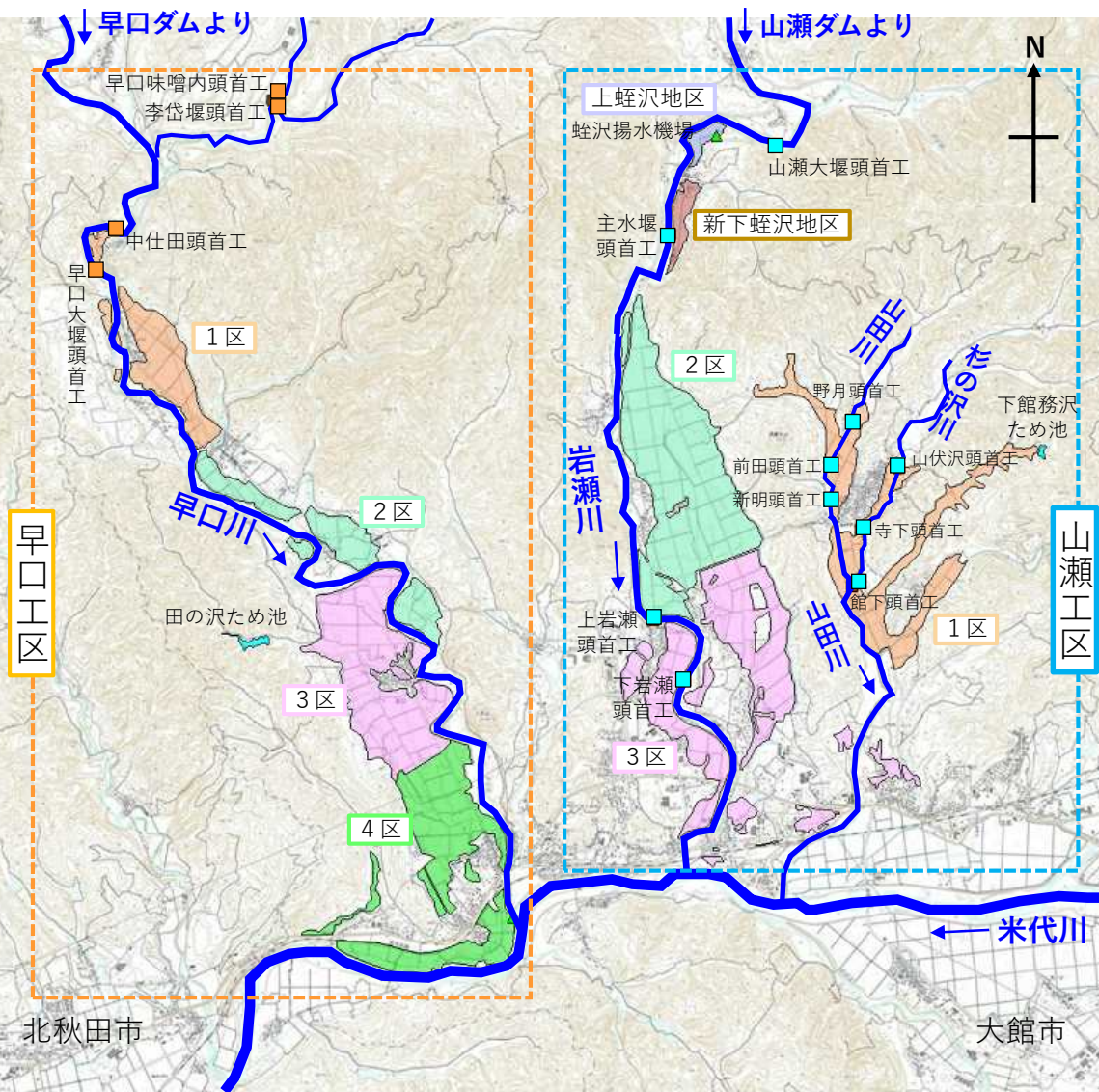
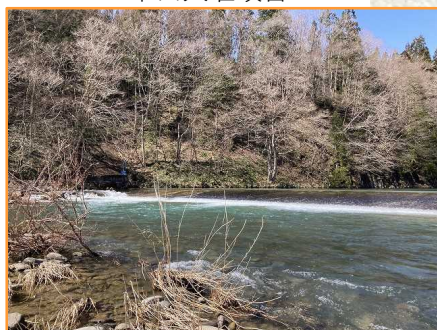
早口ダム



中仕田頭首工



早口大堰頭首工



山瀬ダム



山瀬大堰頭首工



主水堰頭首工

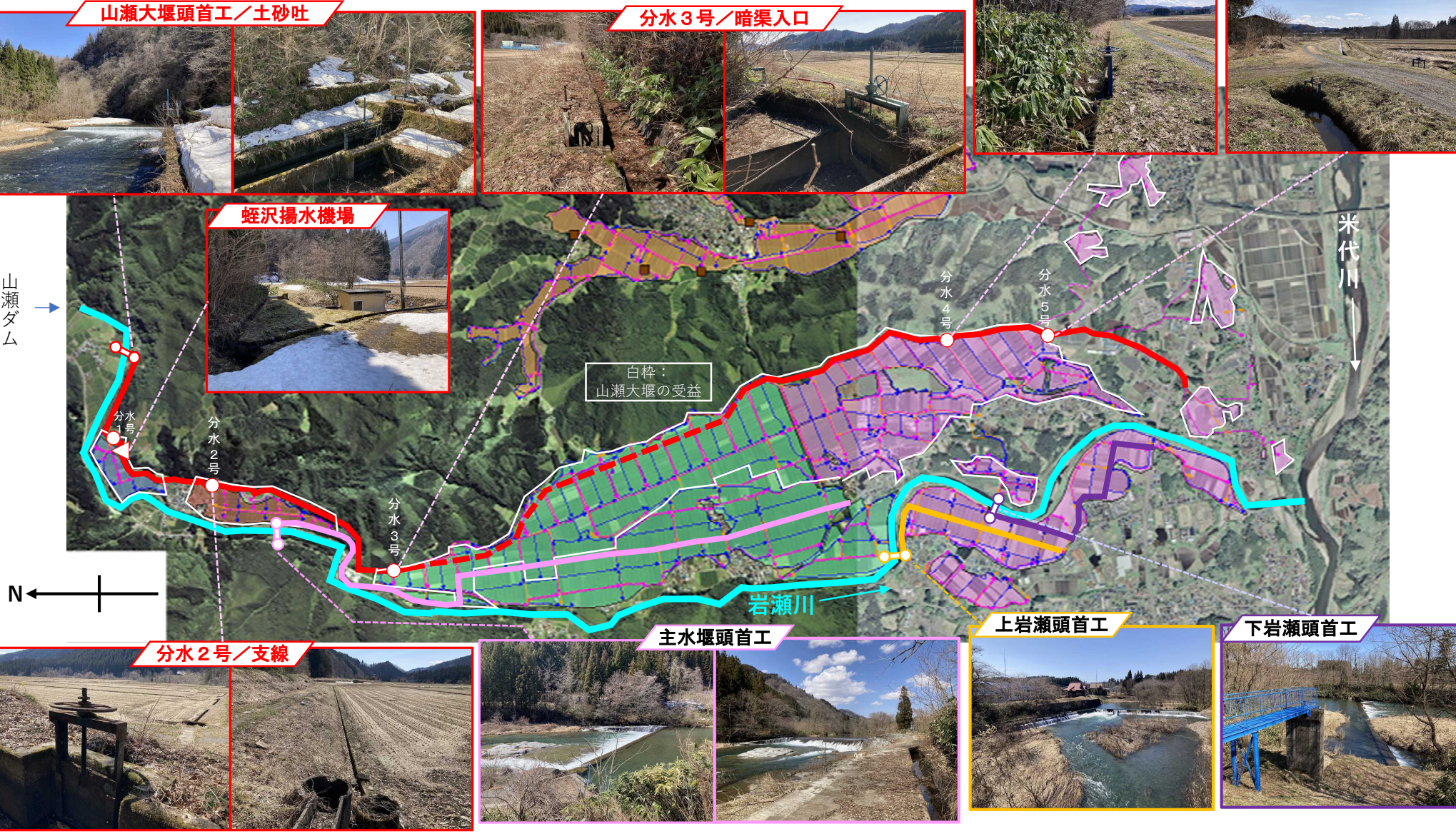


農業水利システム

山瀬工区（岩瀬川流域）

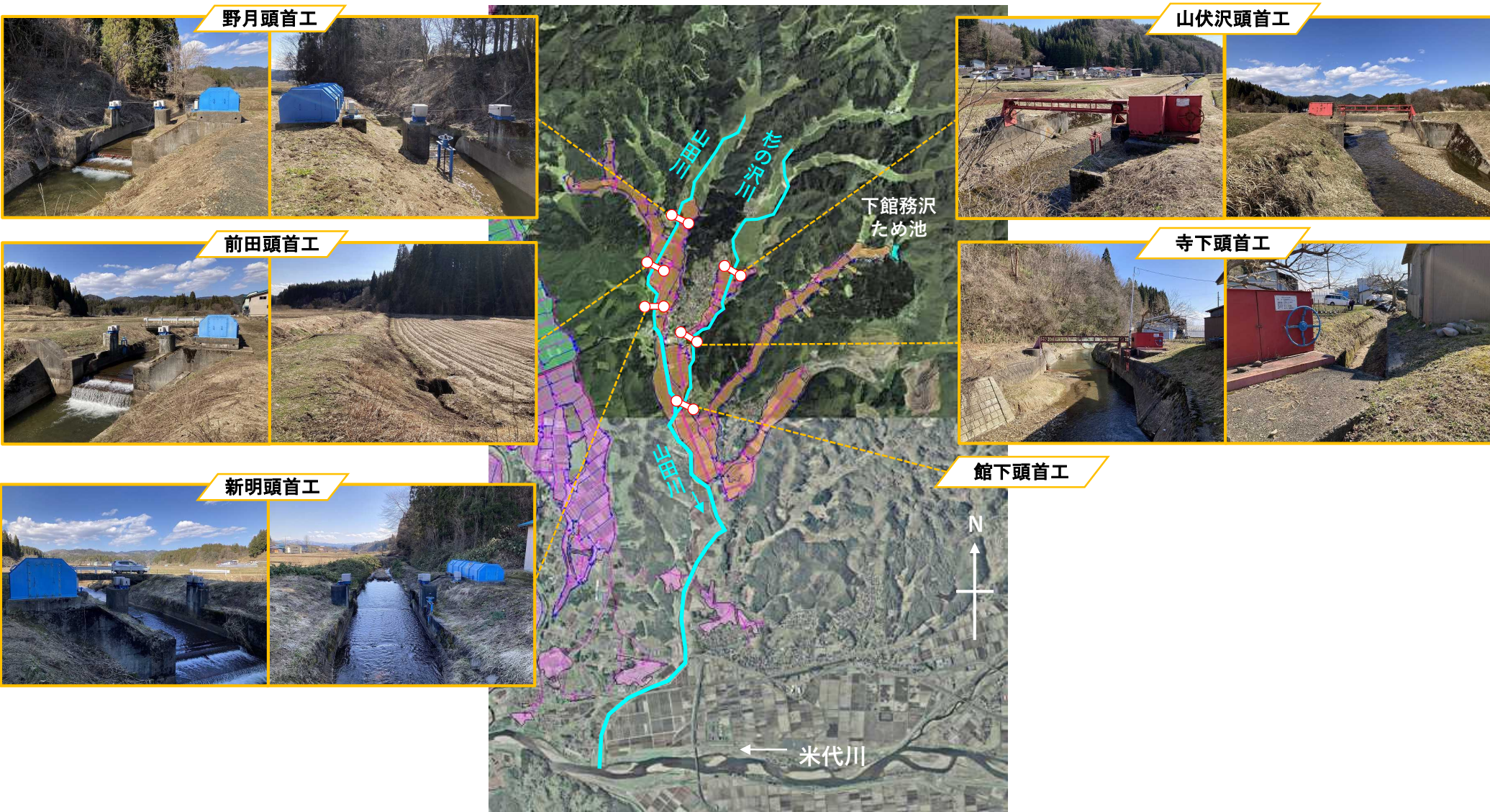
頭首工から開水路を通じ用水供給するオーソドックスな構成

■ 山瀬工区（岩瀬川流域）では、左岸側を山瀬大堰頭首工・主水堰頭首工、右岸側を上岩瀬頭首工・下岩瀬頭首工により取水。
■ それぞれ幹線・支線・末端とも開水路であり供給主導型のシステムとなっている。



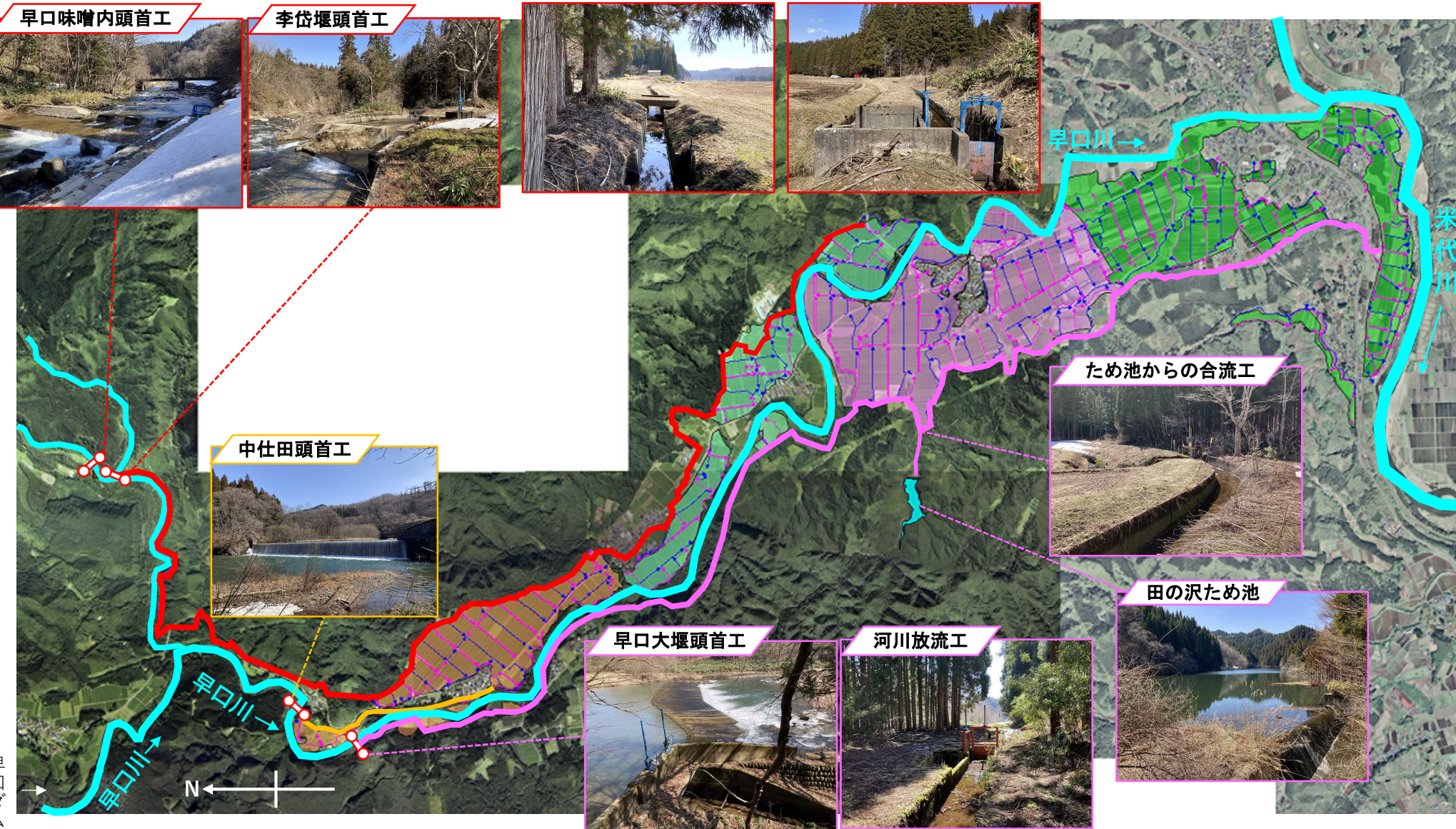
農業水利システム 山瀬工区（山田川流域） 頭首工から開水路を通じ用水供給するオーソドックスな構成

■ 山田川及び支流の杉の沢川とも、エンジン巻き上げによる転倒ゲート堰上げ式の頭首工により取水。

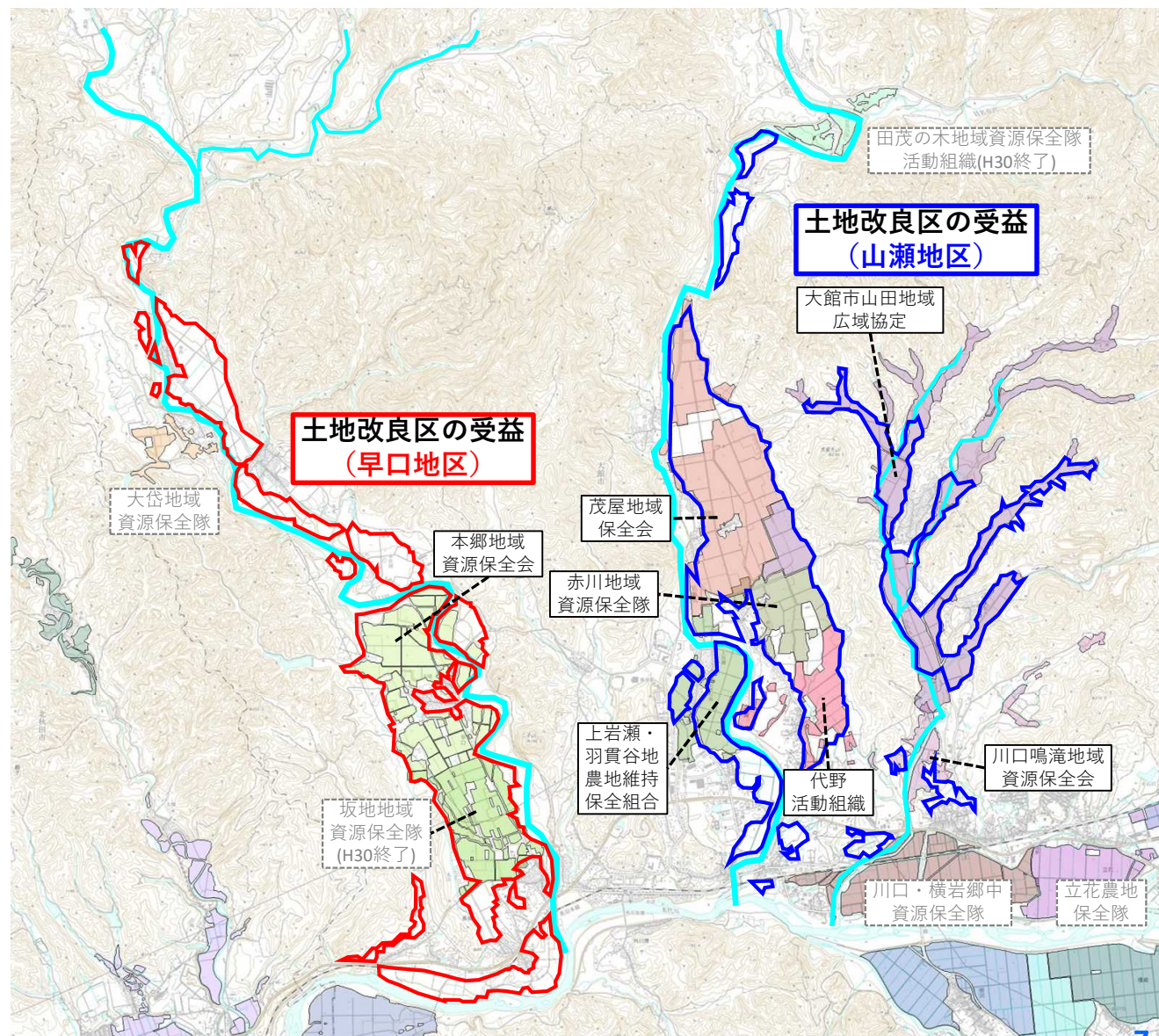


農業水利システム 早口工区 頭首工から開水路を通じ用水供給するオーソドックスな構成

- 早口川左岸側は李岱堰頭首工・中仕田頭首工等の掛かりであり、開水路による需要主導型システム。
- 早口川右岸側は早口大堰頭首工掛かりであり、開水路による需要主導型システム。また、田の沢ため池により補水される。



- 土地改良区受益地内に 6 組織が存在。このうち全組織が共同活動までの取組を実施。
- 6 組織とも土地改良区が構成員となっているが、土地改良区による事務受託はしていない。



- 地域の大半は昭和51年度からの「早口地区」「山瀬地区」により、ほ場整備が行われた。
- 岩瀬川の一部受益においては、平成半ばに土地総により整備。

地区名	制度	工期	受益
山瀬	一般	S51～S63	414 ha
早口	一般	S51～S63	321 ha
中岩瀬	土地総	H13～H15	28 ha

